

# チャノキイロアザミウマ

【学名：*Scirtothrips dorsalis*】



写真1 果梗部の被害



写真2 雌成虫

## 【被害と発生生態】

- ・発生部位…果実
- ・発生時期…5～10月（最盛期：7～8月）
- ・発生好適条件…高温乾燥時に多発しやすい傾向があります。
- ・症状…果梗部ではリング状の傷ができます（写真1）（加害時期：幼果期～夏）。  
果頂部では灰白色～黒色の雲状の傷ができます（加害時期：夏～秋）。

## 【見分け方】

- ・雌成虫は体長0.8mm前後です。
- ・他のアザミウマ類より小型で、翅の付け根が黒い八の字に見えます（写真2）。

## 【対策】

- ・園内に黄色粘着トラップを設置し、7日間隔で誘殺数を調査すると発生状況を把握できます。調査結果を参考に多発する前に薬剤散布を行ってください。
- ・7～8月は急増しやすいので、発生状況に注意が必要です。
- ・防風樹（イヌマキやサンゴジュなど）の新芽で増殖するので、夏芽が発生しないよう5～9月の剪定は控え、施肥量に注意してください。
- ・防風樹への農薬散布は天敵を減らし、チャノキイロアザミウマが多発する可能性があるため控えてください。